

背景

- 天下の台所として諸国物資が集積され、発展を遂げてきた大阪には数多くの歴史的・文化的資産が存在しています。とすれば高層ビル群に紛れて見落とされがちな、これらの資産にスポットを当て、無電柱化や周辺景観と調和した道路整備に併せて、観光案内板を設置することで回遊性を高め、多くの方々に都市の魅力を感じていただけるよう、「かんまち事業」に取り組んでいます。
- 船場地区は、三休橋筋における無電柱化や「船場地区HOPEゾーン事業」、「生きた建築ミュージアム事業」などのまちの魅力向上させる事業が進むなどかんまち事業実施にあたっての様々な好条件が整っています。

事業実施箇所

- 歴史的建築物など、既存のまちの魅力を向上させる資産が集積し、かつ民間開発が進む箇所において、**先行して整備をめざす3箇所**（**日本生命ビル周辺**、**芝川ビル周辺**、**大阪倶楽部周辺**）と**整備に向けた検討を進めていく1路線**（**道修町通周辺**）を有識者会議において事業実施箇所として選定しました。（右図）



写真：西岡潔

官民連携による取り組みの推進

- 本事業では、官（大阪市）と民（市民・企業等）が連携して、無電柱化や周辺景観と調和した道路整備、観光案内板の設置など、観光魅力の向上に向けた取り組みを進めています。

協議・調整

- まちなみの調和
- にぎわいの創出
- まちづくり活動の推進

官（大阪市）

- 無電柱化
- 周辺景観と調和した整備
- 観光案内板の設置、等

連携

民（市民・企業等）

- 地上機器設置スペースの提供
- 観光案内板の維持管理、等



ワーキンググループにおける官民連携による議論の様子

特徴的な取り組み事例 ～官民連携による取り組み～

◆ 民地内での地上機器設置スペースの提供 【芝川ビル・大阪倶楽部周辺】

無電柱化にあたっては、これまで電柱に取り付けられていた変圧器などの機器を収容する箱（地上機器）を道路に設置する必要がありますが、歩道が設置されていないような狭い道路では、地上機器の設置スペースが確保できないなどの問題から、無電柱化が進んでいませんでした。対象地区では、沿道地権者の協力により民地内に地上機器設置スペースの提供を受け、無電柱化が実現しています。



道路区域(官地) 船場建築線(民地)
地上機器設置箇所

◆ 地元組織による観光案内板の維持管理・盤面デザインの検討 【日本生命ビル周辺】

「船場」の知名度向上や新たな観光ルートの創出（回遊性の向上）を図るため、地上機器の上に観光案内板を設置しました。この観光案内板については、設置は大阪市で行っていますが、盤面デザインの検討や日常的な維持管理については、地元組織である『船場倶楽部』*にて行って頂いています。



内北浜通に設置された観光案内板

*：平成27年9月に地元連合振興町会などが主体となり発足。

盤面のデザイン（今橋通）

◆ イベント開催によるにぎわいの創出 【日本生命ビル周辺】

周辺の歴史的・文化的な建築物を巡る来街者が、整備されたまちなみに魅力を感じていただけるよう、「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2015」（H27.10.31～11.1）と開催時期を合わせたイベントを開催しました。なお、船場地区の特徴である「船場建築線」の空間や、沿道の民間敷地（公開空地等）を活用する試行的なイベントとして実施しました。



歩行空間 イベント開催空間

イベント（マルシェ）の開催状況

◆ 地元協議会の発足によるまちづくり活動の推進 【道修町通周辺】

武田道修町ビルや大阪ガスビルといった近代建築物が立ち並び、神農祭やくすりのまちとしても有名な道修町通では、『道修町まちづくり協議会（The 道修町倶楽部）』*が発足し、現在、まちづくりのコンセプトや地域で取り組む活動内容が検討されるなど、まちづくり活動が進展しています。

今後は、官民連携して無電柱化や周辺景観との調和を図ったまちなみづくりの検討を進めることとしており、道修町通全体で統一したまちなみづくりを行うことで、船場地区の南北軸である三休橋筋（整備済み）に対し、東西の軸として船場地区の回遊性の向上が期待されます。

*：平成27年9月に沿道の市民・企業等が主体となり発足。



ワークショップでまちづくりコンセプトを検討している様子

◆ 日本生命ビル周辺

歴史的建築物と調和した通り全体で一体感のある整備

景観を阻害していた架空線の撤去（無電柱化）
注）日本生命の負担により実施

自然石（石畳）舗装による歩道整備
注）日本生命の負担により実施

石畳風舗装による車道整備
注）日本生命の負担により実施

民地内と道路の舗装材の色彩・パターンを合わせるなど官民でデザイン調整を行い、周辺景観との調和を図っている
注）大阪市の周辺の路側整備を実施

◆ 芝川ビル周辺

近代建築物を中心に周辺景観と調和した通り全体で一体感のある整備

景観を阻害していた架空線の撤去（無電柱化）

民地内への地上機器の設置

地区内で統一したデザインの道路照明灯

石畳風舗装による路側整備

民地内と道路の舗装材の色彩・パターンを合わせるなど官民でデザイン調整を行い、周辺景観との調和を図る

◆ 大阪倶楽部周辺

歴史的建築物と調和した通り全体で一体感のある整備

民地内への地上機器の設置

景観を阻害していた架空線の撤去（無電柱化）

地区内で統一したデザインの民間照明灯

民間と連携した歩道の整備

民地内と道路の舗装材の色彩・パターンを合わせるなど官民でデザイン調整を行い、周辺景観との調和を図る

将来イメージ

* 将来のイメージを表現したものであり、整備内容は確定したものではありません。